

# 資料1

## 「AYA 世代がん患者の診療・支援に関するアンケート」集計結果

- \* がん診療連携拠点病院 14 施設のがん相談支援センター長あてにアンケートを依頼
- \* 回答期間:2020 年 6 月 17 日～7 月 8 日
- \* 回収率:100%(7 月 22 日集計時点)
- \* 回答者:がん相談支援センター相談員, 医事課職員 等

Q1. AYA 世代がん患者の受診状況を把握するための院内システムの有無

- ある…2 施設 (把握方法: 院内がん登録, 病名告知時に各診療科の看護師が同席 等)
- ない…12 施設

Q2. AYA 世代がん患者の診療や支援にかかわる院内共通窓口を担当する部署の有無

- ある…9 施設 (担当部署:がん相談支援センター, 担当診療科 等)
- ない…5 施設

Q3. (Q2.で「ない」を選択した場合)AYA 世代がん患者の診療や支援にかかわる院内共通窓口を設置する予定の有無

- ある…0 施設
- ない…5 施設

Q4. 昨年 1 年間の AYA 世代がん患者の院内がん登録件数(15～25 歳/26～39 歳の年齢層別)

- 15 歳から 25 歳まで…14 施設:合計 88 件, 中央値 5.5 件 (最少 0 件～最大 19 件)
- 26 歳から 39 歳まで…14 施設:合計 582 件, 中央値 43 件 (最少 2 件～最大 128 件)

Q5. AYA 世代がんの診療を行っている主な診療科(複数回答)

産婦人科(13 施設)

外科(7 施設)

乳腺外科, 泌尿器科, 血液内科(各 6 施設)

脳神経外科, 耳鼻咽喉科(各 5 施設)

消化器内科(3 施設)

小児科, 内科, 呼吸器内科(各 2 施設)

消化器・乳腺外科, 乳腺内分泌外科, 乳腺甲状腺外科, 呼吸器科, 臨床腫瘍科, 整形外科,  
歯科口腔外科(各 1 施設)

Q6. AYA 世代がんに対するカンサーボードの開催状況

- 定期的に開催している…0 施設
- 必要に応じ開催している…7 施設
- 開催していない…7 施設

Q7. 2019 年度における AYA 世代がん患者の相談件数

13 施設:平均 14 件 (最少 0 件～最大 54 件)

その他 1 施設:10 件未満

Q8. AYA 世代がん患者の診療等に関わる意思決定支援を相談できる体制の有無

- ある…14 施設
- ない…0 施設

Q10. AYA 世代がんの高校生・大学生に対する教育支援体制の有無

- ある…4 施設
- ない…10 施設

Q12. AYA 世代がんの患者に対する就労支援(両立支援)体制の有無

- ある…14 施設
- ない…0 施設

Q13. 広島がん・生殖医療ネットワーク(HOFNET)の活動について

- 良く知っている…2 施設
- 一部知っている…11 施設
- 知らない…1 施設

Q14. AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存支援体制の有無

- ある…13 施設
- ない…1 施設

Q15. (Q.14 で「ある」を選択した場合)主な妊孕性温存依頼施設と紹介件数(2019 年度)

- HOFNET の施設 (自施設が HOENET に所属する場合も含む)  
…12 施設:中央値 0.5 件(最少 0 件～最大 9 件)  
その他 2 施設:数件, 不明
- HOFNET 以外の施設…1 施設 1 件のみ

Q16. AYA 世代がん患者の長期フォローアップを行う部門(診療科)の有無

- ある…7 施設  
担当部門:小児科 LTFU 外来, 血液内科 LTFU 外来, 該当事例がある診療科 等
- ない…7 施設

Q17. がん相談支援センター以外で、AYA 世代がん患者の支援を行っている診療科や職種の有無

- ある…13 施設  
診療科:乳腺外科, 緩和ケア科 等  
職種:医師, 専門看護師, 認定看護師, 公認心理士, MSW 等
- ない…1 施設

Q18. 今後、がん診療連携拠点病院として AYA 世代がんに対する全人的治療体制を整備するにあたり、広島大学病院の AYA 世代支援チーム(がん治療センター AYA 世代がん部門)との連携を希望するか

- 希望する…14 施設
- 希望しない…0 施設

## その他コメント(自由記載)

- ・ 教育支援, 心理支援, その他対応などについての相談や, 必要に応じて直接介入を依頼できる, また, 事例が少なく経験を積みにくいいため, 事例の共有ができるとうありがたいです。
- ・ 当院では, AYA 世代支援について各部署で取り組んでおりますが, 院内全体の体制整備までは至っていないのが現状です。しかし, 患者の多様なニーズへの支援として必要性を感じております。そのため, 新しい情報や貴院での取り組み, 貴院の AYA 世代支援チームとどのような連携が可能なのか, ご教示いただけますと幸いです。
- ・ AYA 世代支援について具体的なイメージがしにくい部分があるため, 勉強会等の開催があれば参加したい。(各病院の取り組みや対応事例など)

---

## アンケート結果の分析:

- \* 広島県内における AYA 世代がん患者の診療ニーズは高く、回答のあった 14 施設で昨年一年間に 600 例以上(A 世代 88 例、YA 世代 582 例)の新規がん登録が行われていた。
- \* AYA 世代がんの診療を行なっている診療科は、本世代におけるがん種の特徴を反映し、婦人科腫瘍・乳腺・泌尿器科・脳神経外科・血液・耳鼻咽喉科各専門医が所属していると思われる診療科が主体であり、小児科・消化器内科・消化器外科・呼吸器内科・歯科口腔外科等における診療も行われているが、軟部腫瘍・内分泌腫瘍などの希少がんを取り扱うことが可能な医療資源が十分ではない可能性がうかがわれた。
- \* 各施設において AYA 世代がん患者を支援するために様々な取り組みが行われており、ほぼ全ての施設で、意思決定支援・就労支援・妊孕性温存支援が可能となっている。
- \* 妊孕性温存については、すでに広島がん・生殖医療ネットワーク(HOFNET)が存在しており、12 施設において同組織との実際の連携が行われていたが、今後も HOFNET の活動をさらに周知し、持続的なものとしていくためには AYA 世代がんチームとの連携が有益と思われる。
- \* AYA 世代がん患者の受診状況を把握するシステムについては、14 施設中 12 施設において「未整備」との回答であり、院内共通の相談窓口を設置している施設は 9 施設にとどまっていた。
- \* AYA 世代がん患者の相談件数は、各施設における患者数を反映したものと推測するが、上記の患者数と比較して十分とは言えないことから、現在、未整備の施設においても AYA 世代がん支援に関する共通の窓口を設置することにより、アンメットニーズに応えていける可能性があると思われる。
- \* また、治療後の長期フォローアップ、A 世代に対する教育支援、カンサーボードについては、未整備の施設が半数を超えており、施設間連携・標準的プログラムの共有などを通じて、より充実した支援体制を整備していくことが必要である。
- \* 全ての施設より、都道府県がん診療連携拠点病院(広島大学病院)の AYA 世代がん支援チームとの連携を希望するとの回答があり、今後、コロナ禍の中でも運用が可能な方式を検討し(web 形式など)、全国の AYA 世代支援チームとの情報共有、各種研修会の開催、AYA 世代カンサーボードでの事例相談、対応困難例へのセカンドオピニオンなどの機能を有した県内拠点病院のネットワークを構築することを検討することは有意義と思われる。

(以上、文責・一戸辰夫)